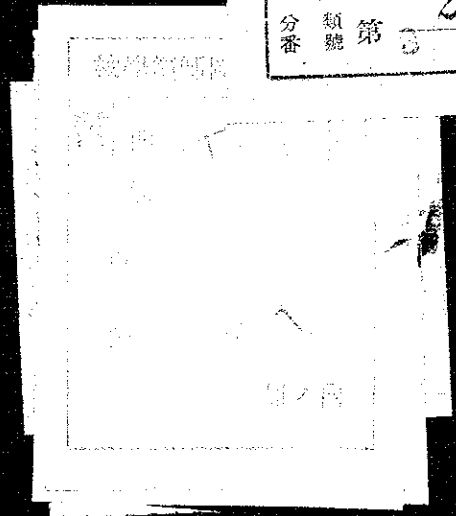


和蘭法

下編

福岡第一師範學校  
(學校圖書)

登錄番	第	號
社會科學部		
法律法學部		
民法	款	外國民法
目		次
全	冊ノ内第	冊
分類番	第	25678 號



Q 1A1  
23  
No 24

圖書 和圖書 遡



福岡教育大学蔵書

下編 邑治官負權務ノ事

第一卷 總則

第二百十條 邑治ハ政府國會并ニ所屬ノ州會  
ニ對シ本邑并ニ邑内人民ノ利益ヲ保守スル  
ノ權アルヘシ

第二百一十一條 數邑相通ノ利害制置構造等ニ  
關カルコトハ各邑官負合議ノ上州行事ノ承諾  
ヲ經テ其規則ヲ定ムヘシ

和蘭邑法

卷下

三

文部省

州行事承諾セサル時ハ直ニ政府へ訟フルコト  
妨ケナシ

數州ノ諸邑ニ相通スルコトナレハ各州行事政  
府ノ命令ヲ受ケテ之ヲ指揮スヘシ

第百二十二條 前條ニ載スル事件ヨリ生スル  
費用ハ各邑關係ノ廣狹ニ應シ其邑庫ヨリ出  
金スヘシ

右事件ヨリ爭論ノ起ルキハ州法ノ第百四十

七條第百六十一條ニ準シテ處置スヘシ

第百二十三條 邑治ノ官負其職務ノ事ニ付邑

治中ヨリ舉ケタル掛リノ者或ハ治下ノ有司

ニ其下調ヲ命スルノ權アルヘシ治下ノ有司

右ノ命令書ヲ受ルコト再度ニ及フト雖情實ヲ

申出シテ期日ヲ過クルキハ別ノ有司ニ其

下調ヲ命スヘシ但シ其費用ハ情實申出ヲ遲

滯セシ有司ヨリ償ハシムヘシ

第百二十四條 本邑關係ノ事件ナレハ何事ニ  
限ラス國內事務局ハ勿論其外ノ事務局并ニ  
州長州會州行事ヘ向ケテ邑治ヨリ報告并ニ  
建白ヲ為スコトヲ得ヘシ

第百二十五條 各邑ノ間若クハ州邑ノ間ニ不  
和ヲ生スル時ハ政府ノ裁斷ヲ乞フヘシ

第百二十六條 政府若クハ州廳ノ律法告諭等  
ヲ施行スルニ構造等ニ關リテ本邑ノ助ケヲ

要スルハ其助ケヲ成スハ邑長又ハ主事ノ  
任タルヘシ

右邑會ノ助ケヲ要スルヲ邑會ニテ否ト決ス  
ルハ邑長又ハ主事ヨリ其趣意ヲ申出スヘ  
シ

第百二十七條 前條ニ載スル所ノ事件ヲ邑長  
主事施行セサル歟又ハ施行ノ法宜シキヲ得  
サルハ州長之ヲ施行シ且ツ過料ヲ邑長主

事ヨリ出サシムヘシ

第百二十八條 邑ヲ合セ又ハ分ツ等ノ事ハ第  
百二十九條第百三十二條ノ手續ヲ經タル上  
ニ非サレハ施行スルヲ得ス

第百二十九條 邑ヲ合セ又ハ分ツヘキトアレ  
ハ州行事ヨリ其事ニ關係セル諸邑ノ邑長主  
事ヲ呼出シ事情聞糺シタル上ニテ其章程ヲ  
考案スヘシ若シ其諸邑數州ニ關係アルハ

關係セル州行事相議シテ別段掛リノ者ヲ設  
ケ專ラ其取調ヲ為サシムヘシ

第百三十條 右ニ付注意スヘキ件々左ノ如シ

一 合併スル時ニハ其合併スル他邑ノ全部  
又ハ一部ニ屬スル所有物及ヒ租税ノ事  
ニ付預メ處置ヲ為サ、レハ合併ニ依テ  
利害ヲ生スルヲナキヤノ事

二 分割ノ時ニハ公同ノ建築堂構ノ類ハ可

成丈ケ其地ニ屬スヘシ但シ本色所有ノ  
内ニ天工ノ産物アリテ邑民ノ利益トナ  
ル者ハ本邑ニ屬スヘシ

第百三十一條 邑地分合ノ議案ハ關係セル諸  
邑ニ於テ邑會ノ評議ヲ經ヘシ其外又邑内議  
員選舉人ヨリ議員同人數ノ掛リ議員ヲ別段  
選舉ニ其評議ヲ經ヘシ尤右掛リ議員ノ會議  
ニ於テモ議長ハ邑長タルヘシ

右掛リ議員ヲ選舉スルノ法ハ常例議員ヲ選  
舉スル規則ニ從ヒ其他第十二條ノ初節及ヒ  
第十三條第十四條第十五條ノ規則ニ從フヘ  
シ

第百三十二條 邑會ノ決議并ニ別段掛リノ議  
員會決議トモ州行事ニ差出シ右行事ニテ評  
議ヲ加ヘ之ヲ國內事務局ヘ送ルヘシ  
第百三十三條 邑地分合ノ規則施行ニ至ル片

其邑ニ在來ノ官員及ヒ制度權務等ハ追テ規則定マルマテハ舊來ノ通りタルヘシ  
邑地分合規則ノ内ニハ新議員選舉ニ付緊要ナル事件アラハ其規則ヲ掲クヘシ

第二卷 邑治保持ノ事

第一段 總則

第百三十四條 邑長若クハ邑長主事ノ定任トナリタル件ヲ除クノ外邑治保持ノ事ハ都

テ邑會ノ職掌タルヘシ

第百三十五條 邑内取締向禮儀法式人身健康ノ要置其外邑治ノ一ニ付タル布告ヲ作ルル  
邑會ノ任タルヘシ

第百三十六條 邑治限リ設ル所ノ諸官員ノ給料右官員引當質物并ニ邑用金銀出入ノ事共  
邑會ノ職掌タルヘシ

邑用金借入ノ決議書ノ内ニハ必ス返金利息

金ノ出所ヲ書加フヘシ

第三百三十七條 邑治ノ所有物ヲ或ハ買取り或ハ交易シ或ハ賣渡シ或ハ質入ノ事及ヒ右ニ付起リタル詞訟和談ノ事并ニ他向ヨリ到来ノ使命若クハ贈物ヲ受ルヤ否ヤ等ハ邑會ノ決議ニ從フヘシ

第三百三十八條 邑治ノ所有物ヲ利息又ハ貸賃ヲ取り或ハ別段ノ法ニテ貸渡ス事前條同例

タルヘシ

第三百三十九條 邑治所有ノ貸附物ヲ規則又ハ約束ニ從ヒ返納セシムヘキ期限ヲ猶豫セシムルコト前條同例タルヘシ

第四百十條 國法州法ノ條例ニ則トリ邑内ヲ數區ニ分チ人數戶數每區宜シキヲ得セシムルコト邑會ノ任タルヘシ

第四百十一條 邑内道路橋梁溝洫巷衢市場公



堂等ヲ新造若クハ修補スルコト邑會ノ任タル  
ヘシ

第四百十二條 邑用ノ工作品物等入札註文ノ  
法方并ニ約束ヲ取極ムルコトハ邑會ノ任タル  
ヘシ  
右入札ハ公然タル場所ニテ行フヘシ但シ本  
邑ノ為ニ已ムヲ得サル事情アリテ相對注文  
スルハ此例ニ非ラス

第四百十三條 第二百十七條ニ示セシ邑内各  
區ノ間ニ詞訟ノコト起ラハ邑會ニテ之ヲ審判  
スヘシ  
區ト邑トノ間ニ詞訟起ラハ邑會ヨリ州行事  
ヘ申出テタル上右行事區中住民ノ内ヨリ別  
段掛リノ者ヲ選舉ナサンメ其詞訟ヲ擔當セ  
シムヘシ

邑中住民誰某ヲ論セス第四百九十四條ヲ照ラ

シ委任ヲ受ケ本邑ノ名代トナリタル者ハ邑  
會ノ見込ニ基ツキ本邑權利ノ伸達センコトヲ  
勉ムヘシ

第百四十四條 歲市并ニ尋常市場ノ期日及地  
所創定廢止變改スルコトハ邑會ノ決議ニテ定  
ムヘシ

第百四十五條 邑法并ニ邑例ヲ以テ命スル官  
員ノ外ハ邑會ニテ命シ且ツ之ヲ免スルコトヲ

得ヘシ

第百四十六條 邑會ヨリ毎年邑内寺院及ヒ貧  
院病院等公同利益ノ為ニ設ル會社ノ事情  
ヲ公告スヘシ但シ國用若クハ州用ノ為ニ設  
クル者ハ此限ニ非ラス

第百四十七條 寺院及ヒ貧院病院等ニ属スル  
官員ノ選任ニ付別段規則ナキ分ハ邑例ニテ  
定メタル式ヲ以テ選任停職免職トモ邑會ヨ

リ之ヲ命スヘシ

第百四十八條 寺院及ヒ貧院病院等ノ費用ヲ

邑庫ヨリ受クル分ハ前算後算トモ邑會ノ指

揮ヲ奉スヘシ前算ハ見積ナリ後算ハ遣ヒ拂ナリ

第百四十九條 邑會ニテ議定中ヨリ一頁又ハ

數頁ヲ選舉シ民生ノ簿冊ヲ掌ルヘキ職ヲ命

スヘシ

邑長モン議定ヲ兼勤セサレハ民生簿冊ヲ掌

ル職ヲ兼シシムルモ妨ケナシ

第二段 邑例ノ事

第一章 總則

第百五十條 邑例トハ邑會邑長主事ヨリ定メ

タル條例ヲ云フ國事州事ニ關係スル者ハ此

外タルヘシ

邑例ノ當否疑フヘキ者ハ第百五十三條ノ定

ニ從フヘシ

第百五十一條 邑例ノ節目若シ法律及ヒ國例  
州例ノ内ニ載セタル者ハ其節目ハ廢止タル  
ヘシ

第百五十二條 邑例ニ付州行事ヨリ問合セテ  
ラハ遲滯ナク回答スヘシ

第百五十三條 邑例ノ節目若シ律法ニ矛盾シ  
又世上ノ利益ヲ害スルコトアラハ政府ノ命令  
ニテ取消シ又ハ當分停止スヘシ

第百五十四條 右取消シ又ハ當分停止ヲ政府  
ヨリ命スルキニハ其道理ヲ述ヘテ布告スヘ  
シ但シ當分停止ハ其期日ヲ載スヘシ

第百五十五條 當分停止ノ命ヲラハ即時ニ其  
事ヲ停止スヘシ

當分停止ノ期限ハ滿一年ヨリ長カル可ラス  
第百五十六條 當分停止ノ期限ノ内ニ政府ヨ  
リ取消ノ命ナケレハ滿期ノ後ハ之ヲ施行ス

ル下妨ケナシ右ノ節ニハ其邑例施行ノ旨ヲ  
公告スヘシ

第百五十七條 一度當分停止セシ事ハ再度當  
分停止ノ命アル可ラス

第百五十八條 律法ト矛盾スルニ依テ取消ニ  
ナリタルキハ其邑例ヨリ生シタル件モ都  
テ之ヲ取消スヘシ  
世上ノ利益ヲ害スルニ依リテ取消ニナリタ

ルキハ其邑例ヨリ生セル件々ヲ檢査シ其害  
アル廉ノミヲ取消スヘシ

第百五十九條 全部又ハ一部取消シ或ハ當分  
停止ノ命アルキハ邑會并ニ邑長主事第百五  
十五條第百五十八條ノ定ノ如ク處置スヘシ  
但右ニ付已ムヲ得サル事情アラハ之ヲ申出  
ツヘシ

第百六十條 一部分取消シ又ハ當分停止ニナ

ルトモ其餘ノ廉ハ其儘施行スルコト妨ケナシ

第二章 邑例ニ違背スル者罪科ヲ

受クヘキ事

第百六十一條 邑例ニ違背スル者ハ兼テ律法  
若クハ國例州例ニ定マリアル規則ノ外ハ邑  
會ニテ一元ヨリ二十五元マテノ過料歟又ハ  
一日ヨリ三日マテ禁錮セシムル歟或ハ過料  
ノ上禁錮スルノ罰ヲ行フヘシ

第百六十二條 曲事ノ主意タル物品曲事ヨリ  
生セシ物品曲事ノ為ニ用ヒ又ハ用ヒントシ  
テ設ケタル物品等ヲ藉没シ又ハ之ヲ破壊セ  
シムルニ付法官ニ屬スル權務ノ規則ハ訟法  
ニ之ヲ掲クヘシ

第百六十三條 一タヒ科ヲ犯セシ者其年ノ内  
ニ再ヒ同様ノ科ヲ犯シ自ラ乞フテ過料ヲ差  
出スルハ過料ニテモ禁錮ニテモ其重キ方ニ

倍セル罰ヲ法官ヨリ言渡サルヘシ

第百六十四條 過料并ニ籍没ノ財貨ハ邑治ノ所得ニ歸スヘシ

第百六十五條 過料イ罰ヲ言渡サレタル者過料金上納ノ期日ヲ過キニケ月ノ内ニテ之ヲ納メサルキハ法官ノ指揮ニテ過料ノ代リニ禁錮セシムヘシト雖モ三日ニ過クヘカラス然レモ再犯ナレハ第百六十三條ニ從ヒ六日

以下禁錮セシムルコト妨ケナシ

過料ノ上ニ禁錮スヘキ罰ニ當ルト雖兩禁錮ノ日數ヲ併セ六日ニ過ク可ラス

第百六十六條 邑例違背ノ者ヲ罰スル節ニハ可成丈ケ會議ノ内ヨリ別段掛リノ者ヲ選舉シ其邑例ノ得失ヲ熟檢セシムヘシ

第百六十七條 凡邑例案邑會ニテ決議ノ後其寫ニ邑長書記同意ノ印ヲナシ四十八時内ニ

州行事ニ差出スヘシ  
 州行事右寫ヲ受取リシヨリ十四日ノ間ニ受  
 取リタル由ヲ邑會ニ報知スヘシ  
 第百六十八條 邑例布告ノ體裁法式ノ如クナ  
 ラサル者ハ之ヲ遵奉スルヲ要セス  
 第百六十九條 邑例布告ハ第百六十七條ニ示  
 セル報知ノ日附ヨリ十四日ヲ過ク可ラス但  
 シ其邑例中ニ州行事ノ見込ニテ取消シ又ハ

當分停止スヘキ箇條アルニ依テ政府ノ指揮  
 フトアラハ例外タルヘシ

第百七十條 邑例ヲ取消シ又ハ當分停止スヘ  
 キヤ否ヤ政府ノ指揮ヲ乞ヒシ所政府ヨリ取  
 消シ又ハ當分停止スヘキ道理ナシトノ指揮  
 アラハ直ニ之ヲ布告スヘシ  
 政府ヨリ右ノ指揮ナクトモ第百六十七條ニ  
 載セタル期日ヲ過キニケ月ノ間別ニ何等ノ



沙汰トクハ指揮アリシト同様タルヘシ

第百七十一條 至急ヲ要スル時ニ當ツテハ決

議次第直ニ其邑例ヲ布告スルモ妨ケナシ

右ノ節ニハ速ニ其邑例ノ寫シヲ添ヘ州行事

ヘ其事情ヲ報知スヘシ

第百七十二條 布告ノ式ハ邑例ヲ以テ定ムヘ

シ尤其邑例ノ内ニ首尾ノ文格ヲ掲ケ一見シ

テ其邑例布告タルヲ知ラシムルノ規則ヲ示

スヘシ

第百七十三條 邑例布告ノ文格左ノ如クナル

ヘシ

某邑ノ邑長主事布告ス某年某月某日本邑

ノ會議ニテ決定スル所ノ條件左ノ如シ

邑例題號

邑例本文

右某月某日本州州行事ヘ寫シテ差出シ落

手ノ報知ヲ得タリ依テ布告スルコト此ノ如  
シ邑内一統了解遵奉イタスヘキ者也  
第百七十一條ノ場合ナレハ落手ノ報知云云  
ノ文ヲ左ノ如ク改ムヘシ  
至急ノ事件ニ付直ニ布告スルコト云云  
第百二十一條ノ如ク數邑合議ノ布令ナレハ  
政府若クハ州行事ノ承諾并ニ委任ヲ受タル  
コトヲ布告ノ内ニ載スヘシ

第百七十四條 邑例遵奉ノ期日ヲ記サ、ル者  
ハ布告後第三日ヨリ之ヲ遵奉スヘシ  
第百七十五條 邑例布告ノ後三ヶ月ノ間ハ書  
記局ニ掲ケ衆人ニ公示スヘシ其外寫又ハ印  
本ニテ本邑關係ノ四等三等二等裁判所及ヒ  
二等裁判所ノ目代局ニ配達シ且ツ誰ニ限ラ  
ス之ヲ求ムル者アラハ相當ノ價ニ代テ之ヲ  
與フヘシ

邑例ノ原本ハ書記局ニ貯藏スヘシ  
 第百七十六條 毎年州行事管内諸邑ニテ一年  
 中ニ布告セル邑例ヲ提要シ州廳日誌ニ載セ  
 テ之ヲ公布スヘシ  
 第百七十七條 第百六十六條ニ載セタル別段  
 掛リノ者歟掛リノ者ナケレハ邑長主事ニテ  
 不斷注意シテ邑例何ノ箇條違背ノ罰ヲ被ム  
 ル者最モ多キ歟且其箇條ハ何程ノ効用アル

歟ヲ詳ニ検査シ其成案ヲ毎年邑會ニ差出ス  
 へシ  
 第百七十八條 少クモ五年ニ一度ツ、邑會ニ  
 テ在来ノ邑例ヲ悉ク校正シ尚ホ存スヘキ分  
 ハ更ニ之ヲ布告スヘシ  
 右布告ニハ全部存スヘキ者ハ其題號ヲ載セ  
 一部存スヘキ者ハ其箇條ヲ載セ邑例ノ體裁  
 ヲ以テ布告スヘシ

右布告ニ付第百六十六條及ヒ第百七十五條ノ規則適當スヘシ

第三段 邑中常務ノ事

第一章 總則

第百七十九條 邑中ノ常務ハ邑長主事ノ任タリ其目左ノ如シ

- 一 邑會ニテ決定セシ邑例ヲ施行スル
- 二 邑例施行ノトヨリ生シタル爭論ヲ裁判

スルヲ但シ右裁判ニ付別ニ任ヲ受クル者アラハ此限ニ非ラス  
別段任撰ハ議院中ノ權ナリ

三 第百六十六條ニ載セタル邑例ヲ布告スル事

四 第百二十四條ニ從ヒ報知并ニ建白ヲ為ス  
但シ右ニ付邑會ノ見込アラハ之ニ從フヘシ

五 邑治ノ歲入歲出ヲ指揮スルヲ但シ別任

ノ者アル事件ハ此限ニ非ラス

六 司計官ノ簿冊及ヒ倉庫ノ點檢スル事

七 邑治ノ建造物并ニ所有物ヲ監視保護ス

ル事

八 邑内ノ通路橋梁溝池澤渡口市街山林

原野等衆庶通用ノ為ニ設ケタル所ヲ保

護シ差支ナキ様ニ注意スル事

九 諸築造製作ノ類入札注文ノ工夫等邑會

ニテ取扱ハサル分ハ之ヲ設置スル事

十 市場巡警并ニ運送巡警取締ノ事

十一 公共ノ治療事務監督ノ事

十二 埋葬并ニ墓所巡警取締ノ事

十三 火消隊監督ノ事

十四 區長并ニ防火長點陟ノ事

十五 書記官附屬ノ胥吏點陟ノ事

十六 邑庫ヨリ給料ヲ受クル官員ヲ停職セシ

ムルヲ但レ別任ノ者アルハ此限ニ非  
ラス

十七 本邑他ノ相手トナリテ詞訟ヲ始ムル前  
ニ其成行ヲ熟考シ本邑所有ノ品物權利  
等ニ差響キアルヤ否ヤヲ察シ若シ差響  
クニアラハ前以テ至當ノ處置ヲ可為事  
十八 邑會ノ考案又ハ決斷ヲ為サシメシカ為  
ニ事情ヲ悉シ議案ヲ整フルヲ但レ別任

ノ者アラハ例外タルヘシ

十九 貸附所寺院慈院病院貧院等本邑ノ管轄

ニ屬スル分ヲ指揮監督スヘキ事

廿 時期ヲ定メ年中ニ度々右ノ三ヶ所ヲ巡

覽シ其情狀ヲ邑會ヘ報告スヘキ事

廿一 總シテ邑治ニ關涉セシヲ間斷ナク監

視スヘキ事

第一百八十條 邑例施行ノ上ハ之ニ違背シテ或

ハ事ヲ企テ或ハ起シ或ハ廢スル者アラハ之  
ヲ差留メ又ハ強テ為サムルノ權アルヘシ時  
宜ニ依リ違背人ノ損失トナルモ妨ケナシ  
但シ至急ノ場合ヲ除クノ外ハ書付ヲ以テ  
違背人ヲ警戒シタル上ニ非サレハ右ノ手  
續ニ至ル可ラス

第百八十一條 三ヶ月ニ少クモ一度ツ、司計  
官ノ簿冊倉庫ヲ點檢スヘシ點檢ノ節ニハ點

檢証書ヲ作り邑會并ニ州行事ニ差出スヘシ  
第百八十二條 毎年四月ニ於テ邑長主事ヨリ  
邑治ノ情狀ヲ明細ニ記シ且ツ道理ヲ述ヘク  
ル書面ヲ邑會ヘ差出スヘシ

右書面ハ州行事ヘモ之ヲ送ルヘシ  
右書面ノ體裁ハ州行事ヨリ伺ノ上國內事務  
局ニテ定メタル式ノ如クヘシ且ツ右書面ハ  
望ノ者アラハ相當ノ代料ニ代ヘテ寫本又ハ

印本ニテ何人ニ限ラス之ヲ與フヘシ

第百八十三條 邑長主事ハ邑中常務ニ付邑會ノ責問ニ答陳シ且ツ望ミ次第明瞭ナル報知ヲ為スヘシ

第二章 共同平安守護ノ事

第百八十四條 一揆徒黨ノ類共同ノ平安ヲ故障スル者アルキハ本邑ノ民兵又ハ邑内在留ノ官兵又ハ近隣在留ノ官兵ノ救援ヲ望ム

邑長ノ權ニ在ルヘシ

但シ右ノ節ニハ早速州長官ニ事情ヲ報知スヘシ

第百八十五條 民兵并ニ官兵ノ隊長ハ邑長ノ望ミ次第速ニ之ヲ救援スヘシ

右望ミハ可成丈ケ書面ヲ以テ申送ルヘシ

第百八十六條 第百八十四條ニ示セシ場合ニ於テ邑長ハ共同平安ノ為ト見込ミタルキハ



兵隊ヲ號令スルノ權アルヘシ

但一揆徒黨ノ者ヘ相當ノ訓誡ヲ加ヘタル  
後ニ非サレハ兵力ヲ加ル號令ヲ下ス可ラ  
ス

第百八十七條 右等ノ節邑民取締ノ為ニ須要  
ナル法令ヲ定メ且ツ之ヲ至急ニ布告スル  
必要ナル時ハ邑長ノ權ヲ以テ之ヲ行フ  
妨ケナシ但シ右法令ヲ直ニ州長ヘ差出シ且ツ

可成丈ク速ニ邑會ニ報告スヘシ

州長ハ右法令ヲ當分差止ルノ權アルヘシ

右法令施行後初度ノ會議ニテ之ヲ否ト決ス

ルキハ直ニ之ヲ廢止スヘシ然レモ邑長モシ

會議ノ否トセシヲ不當トシ第七十條ノ第一

節第三節ニ基ツキテ設置スルキハ格外タル

ヘシ

邑長若クハ其代員ノ權ニテ施行スヘカラサ

ル廉アラハ其法令ハ州長ヨリ之ヲ布告スヘシ

第百八十八條 遊所芝居見セ物宿屋料理屋其外多人數集會ノ場所等ノ取締ヲ為スハ邑長ノ任タルヘシ

邑長ハ公同ノ治要ニ反シ又ハ人道ニ反シタル所為ニ注意シ之ヲ禁止スヘシ

第百八十九條 火災ノ節ハ邑長全權ヲ以テ消

防ノ指令ヲ為スヘシ然レモ消防ニ付定メタル邑例ニ違背セル處分ヲ為ストヲ得ス

第百九十條 巡警并ニ野番ノ長官属卒ハ言ニ及ハス全國一般ノ巡警ニテ別ニ之ヲ管轄スル者アリト雖本邑内ノ事件ヲ取扱フ節ニハ本邑長ノ指令ヲ受ケサルヘカラス  
邑内巡警ハ邑例并ニ邑例ニ基キタル號令ヲ職務ノ本據ト為スヘシ

第百九十一條 巡警長ノ受任停職免職ハ政府ヨリ申渡スヘシ  
右給料ハ邑會ヨリ同ノ上政府之ヲ定ムヘシ  
巡警ノ屬卒ハ巡警長ノ撰擬ノ上邑長之ヲ命スヘシ免職ノ節モ右巡警長ト熟議ノ上邑長之ヲ申渡スヘシ  
巡警長ナキ邑ニテハ邑長ノミニテ之ヲ申渡スヘシ

野番ハ州長全國ノ法令ニ基ツキ邑長ト熟議ノ上其規則ヲ定メ受任免職ノ申渡ヲ為スヘシ  
第百九十二條 共同ノ治要ヲ守ラントシ又ハ共同ノ利益ヲ起サントスルニ臨ミテ本邑官貢ト有志ノ助力ノミニテハ力足ラス且本邑ノ財力相當ノ助力ヲ募ルニ足ラサルハ邑内住民ニ一時力役ヲ命スルモ妨ケナシ

第百九十三條 邑内住民ニ力役ヲ命スル片ハ  
何事ノ為ニ何時限ノ間何所ニ於テスル等州  
行事承諾ノ上邑例ヲ以テ之ヲ布告スヘシ  
右力役ハ代人ヲ差出ス共或ハ代金ニテ納ム  
ルニ可成丈ハ各人ノ好ミニ任カスヘシ

第三卷 州行事承諾ノ上ニ取極ムヘキ  
邑務ノ事

第百九十四條 邑會ノ議定ヲ州行事ニ差出シ

其可否ヲ問ヘキ件々左ノ如シ

- 一 邑治財用借入ノ事
- 二 邑治ニ關係セサル借財利足ノ受合并ニ  
返金ノ受合ニ立事
- 三 邑治所有ノ不動産并ニ國債ノ手形及ヒ  
貸金証文等ヲ賣買交易讓渡質入ニスル  
事
- 四 本邑治ニ贈來セシ者ヲ受ル事

五 本邑所有ノ品物ヲ貸貸又ハ無貸貸ニス  
ル事

六 入札ノ法ヲ用ヒスレテ工作ヲ命レ或ハ  
用達人ヲ申付ル事

七 本邑他ノ對手トナリタル詞訟和談ノ事

八 本邑他ノ對手トナリテ詞訟ヲ為レ及昇  
訴覆審スル事

九 本邑ヲ對手トナシタル詞訟ヲ甘受スル

事

本邑ト本州ノ間ニ起リタル詞訟ニテ右七八  
如ノ場合ニ至ルキハ本邑ノ議定ヲ政府へ差  
出シ其承諾ヲ得ヘシ

本邑ト政府ノ間ニ起リタル詞訟ニテ前同様  
ノ場合ニ至ルキハ政府并ニ州行事ノ承諾ヲ  
得ルニ及ハス

第百九十五條 歳市并ニ尋常市場ノ期日及ヒ

地所ヲ創定廢止變改スル等ノ議定ハ州行事  
ノ承諾ヲ得ヘシ但シ國內事務條例ノ中ニ政  
府ノ承諾ヲ得ヘキ由ノ定アラハ此例ノ外々  
ルヘシ

第百九十六條 州行事前兩條ニ示ス邑會議定  
ヲ受取ラハ其日ヨリ三十日ノ間ニ決答スヘ  
シ

第百九十七條 右三十日內ニ決答モナク又別

ニ延期ノ報知モナキ片ハ州行事ノ承諾ヲ得  
タルト同様タルヘシ

第百九十八條 第百九十四條第百九十五條ニ  
示ス議定ヲ州行事承諾セサルキハ必ス其道  
理ヲ述ヘ回答スヘシ

第百九十九條 本邑他ノ對手トナリテ詞訟ヲ  
為スニ付テノ議定ナレハ本邑ニテ掛リ官吏  
ヲ設ケ律法ニ合セテ事情ヲ取調ヘ其取調書

ヲ添テ差出サ、レハ州行事之ヲ可否スヘカ  
ラス

第二百條 本邑ノ議定書ヲ州行事モシ否トス  
ルキハ其回答ノ日附ヨリ三十日内ニ更ニ可  
否ヲヒクフ妨ケナシ

第二百一條 政府ノ可否ヲヒクシ時ヨリニケ  
月ノ間ニ政府之ヲ裁斷シ其道理ヲ述タル書  
ヲ添ヘテ之ヲ州行事ニ送ルヘシ然ル時ハ州

行事速ニ之ヲ遵奉セサルヲ得ス

第二百二條 邑會ノ議定ニテ州行事ノ可トセ  
ル者ヲ政府ノ命ニテ取消シ又ハ當分停止ス  
ルヲアルキハ本邑ニテ第百五十九條ノ通り  
心得ヘシ

第四卷 邑治歳入歳出見積ノ事并ニ會

計及其其辨解ノ事

第一段 歳入歳出見積ノ事

第二百三條 邑治歳入歳出ノ見積ハ其前年會計期月ヨリ四ヶ月ノ間ニ邑長主事ニテ明瞭整備ナル簿冊ヲ作り邑會ヘ之ヲ差出スヘシ右邑會ヘ差出シタル時ヨリ直ニ書記局ヘ出シ置キ普ク望ノ者ニ公示シ且ツ寫本又ハ印本ニテ相當ノ價ニ代テ之ヲ與フヘシ書記局ニテ公示ノコトヲ邑内ニ公告スヘシ見積ノコトニ付テノ會議ハ書記局公示ノ後少ク

モ十四日ヲ經テ始ム可シ

第二百四條 歳入見積ノ内ニハ一切邑治ノ物成ヲ記載シ且可成丈ヲ詳ニ其小シメヲ記スヘシ

第二百五條 歳出見積ノ内ニハ一切邑治ノ出費ヲ載スヘシ其目左ノ如シ

一 邑長主事書記司計巡警長其外本邑附屬諸官負給料



- 二 議貢出會料
- 三 邑治用燈火薪炭并ニ雜品料
- 四 寫本并ニ印行費
- 五 邑會所并ニ邑長主事誥所書記局ノ修復掃除及器物ノ費
- 六 右邑會所等ノ建物若ニ邑治ノ所有ニ非サレハ其借賃
- 七 身上証書帳類製造保持ノ費

- 八 地面繪圖類製造保持ノ費
- 九 人別帳製造保持ノ費
- 十 選舉人姓名帳製造保持ノ費
- 十一 邑内道路橋梁巷衢市場渡口等第百七十
- 九條ノ第八節ニ属スル件々造作修復ノ費
- 十二 公同墓所新置并ニ保持ノ費
- 十三 防火費

- 十四 本邑所有物ノ保護費并ニ其課役費
- 十五 工局商局ノ費
- 十六 病用巡警ノ費
- 十七 本邑年賦借財ノ利足并ニ返金
- 十八 當座借財ノ返金
- 十九 本邑他ノ對手トナリタル詞訟ノ費
- 廿 政府日誌州廳日誌ニ載録ノ費
- 廿一 第百二十二條ニ載スル費用

廿 非常用意金

廿一 新ニ規則定マリテ出ツル所ノ諸費用

第二百六條 歳入歳出見積書編成ノ法式ハ州  
 行事ニテ擬定シ政府ノ承諾ヲ經テ之ヲ定ム  
 ヘシ

第二百七條 右見積書州行事ノ承諾ヲ經タル

上ニ非サレハ施行スルコトヲ得ス

邑會ニテ見積書決議ノ上少クモ會計期月ノ

前二ヶ月ノ間公示スヘシ

第二百八條 會計期月ノ前ニ州行事右積書ノ

可否ヲ決答スヘシ

州行事回答延期ヲ為サント欲スルキハ右期限ニ及フ前ニ道理ヲ述ヘタル書面ヲ以テ其由ヲ報知スヘシ

第二百九條 州行事右見積ヲ否トスルキハ邑會ヨリ直ニ政府ノ裁斷ヲ乞フテ妨ケナシ

右ノ節ハ第二百條第二百一條ノ定ニ準スヘシ

第二百十條 州行事ハ邑會ノ定ノタル見積ヲ

或ハ全ク承諾シ或ハ全ク承諾セサルコトアルヘシ但シ第百十二條ノ定ハ此限ニ非ス

第二百十一條 會計期月ノ始ニ至ルマテ州行事見積ヲ承諾セサルキハ其見積ノ内異論ナキ箇條ヲ採リテ金額ノ半マテハ遣ヒ拂ヒテ

為スノ權ヲ邑治ニ許スヘシ  
右ノ節又異論ナキ箇條ノ分ハ之ヲ催徴スル  
ノ權ヲモ俱ニ許スヘシ

第二百十二條 律法ニテ本邑ニ課セタル出費  
ヲ歲出見積高ノ内ニ加フルトテ邑會ニテ拒  
ムキハ州行事ニテ之ヲ引象取扱フヘシ  
右ノ場合ニ於テ本邑ノ收入足ラス且ツハ邑  
會ニテ右不足ヲ補ハンカ為ニ新法ヲ行フ

ヲ欲セサルキハ州行事ヨリ州廳日誌ニ載ス  
ヘキ體裁ノ規則ヲ以テ命シタル出費ノ分ヲ  
減却シ以テ本邑歲入歲出平ヲ得ルニ至ラシ  
ムヘシ

第二百十三條 前以テ州行事ノ承諾ヲ得サル  
キハ見積高ノ外ニ遣拂ヒヲ為スヲ得ス  
但シ非常至急ノ時ニ臨ミテハ邑會ノ決定ニ  
テ見積外ノ遣拂ヲ為スヲ妨ケナシ只右決定ニ

書ニ其道理及ヒ償ノ方畧ヲ述ヘタル書面ヲ  
添ヘ遲滞ナク州行事へ差出スヘシ  
右遺拂ヒテ州行事承諾スルキハ見積高ノ内  
ニ之ヲ加フヘシ  
州行事承諾セサルキハ第二百九條ノ規則ニ  
準スヘシ  
政府モ州行事ノ説ヲ可トスルキハ其事ニ  
關カリタル邑會議員自カヲ以テ之ヲ償ハサ

ル可ラス

第二百十四條 歳出見積書ノ箇條ヲ繰替へ彼  
ヲ減シ此ヲ増ス等ハ其見積書ノ内ニ兼テ免  
許アルカ否ヲサレハ邑會議ノ上ニ州行事  
ノ承諾ヲ得サレハ之ヲ行フテ得ス  
第二百十五條 見積書ノ内ニ免許アル者ト雖  
右繰替ヲ為ス時ニハ邑長主事ヨリ毎度邑會  
ノ協議ヲ要スヘシ

第二百十六條 見積ヲ承諾セル由ヲ書載セタル州行事ノ決答モ亦第二百二條ノ定ニ合スヘシ

第二百十七條 邑内諸區諸村互ニ介隔シ稅務賦役各相異ナル者ハ其區別ヲ存スルモ妨ケナシ  
邑治合併ノ規則ニテ右區別ノ定メ明カナル者ノ外邑ムヲ得サル事情アリテ稅務賦役區

別ヲ立ントスルハ邑會ニテ決議ノ上州行事ヲ經テ政府ノ許ヲ乞フヘシ  
政府ノ許ヲ受クルハ州行事此邑法ノ主意ニ基キ本邑ノ財務ト各區各村ノ財務ノ間ニ適宜ノ規則ヲ定ムヘシ

第二段 會計及ヒ其辨解ノ事

第二百十八條 本邑ノ歲入歲出ニ付會計期月コトニ邑長主事第百十五條ノ規則ニ從ヒ其

年ノ出入ヲ詳記セル計簿ヲ司計官ヨリ受取  
リ之ヲ邑會ニ差出シ其詰問ヲ受ケ辨解ヲ為  
スヘシ

第二百十九條 右計簿明瞭整備ハ勿論邑長主  
事辨解ノ為ニ要用ナルヲアラハ之ヲ附記シ  
會計期月ヲ經シ後六ヶ月ノ中ニ邑會ニ差出  
スヘシ

計簿ヲ邑會へ差出次第直ニ一本ヲ書記局ニ

差置キ衆人ニ公示シ且ツ望ミノ者アラハ寫  
本又ハ印本ヲ相當ノ價ニ代ヘテ與フヘシ  
右書記局差出ノ一并ニ賣出ノ一ヲ公告スヘ  
シ

第二百二十條 邑會ニテ右計簿ヲ受取ラハ速  
ニ之ヲ點檢シ其歲入歲出ノ高ヲ決定シ并ニ  
邑長主事ヨリ計簿ニ添ヘテ差出セル歲計議  
案ヲ決定スヘシ

邑長主事ハ右會議ノ席ニ列ルヘント雖議案ノ當否ヲ決スルヲ得ス

第二百一十一條 邑會ノ歲計決議書ハ計簿并ニ附屬ノ書類ト共ニ州行事ノ定ノタル期限内ニ之ヲ送ルヘシ

州行事其本年會計期月ノ次年ノ終ニ計簿ヲ點檢シ其出入ノ金額ヲ確定スヘシ  
但シ右計簿ヲ少クモ十四日ノ間書記局ニテ

公示セシ後ニ非サレハ確定ノヲト為スヘカラス

第二百一十二條 出入金額ヲ確定セル州行事ノ議定書ノ中ニ出項入項共其承諾ヲ得タル分ハ司計官并ニ邑長主事用濟ノ庶タルヘシ  
司計官若クハ邑長主事同時ニ承諾ナリ難キ  
片ハ或ハ司計官計リ或ハ邑長主事計リ用濟トナルヲアルヘシ



第二百二十三條 前條ニ示セル州行事ノ議定書ニ付テモ第二百二條ノ規則適當スヘシ  
第二百二十四條 邑庫ノ財ハ邑長主事ノ命令書ヲ以テ命スルニ非サレハ出スコトヲ得ス尤命令書ニハ邑長主事ノ内一頁ノ自署アルヘシ  
第二百二十五條 律法ヲ以テ邑治ニ課シ其見積高ノ内ニ加ヘタル金高ヲ出スニ當リテ其

邑ニテ命令書ヲ渡サ、ル時ハ州行事邑會へ通達ノ上其渡サ、ル者ヲ召ヒテ其緣故ヲ糾シ其緣故ニ道理アルキハ州行事ノ議定書ヲ以テ出財ヲ命スルコト妨ケナシ  
司計官此議定書ヲ出財ノ命令書ト同視スヘシ  
第二百二十六條 邑長主事ノ命令シテ出財セ、ル高見積高ニ過タル歟或ハ疑フヘキ廉アリ

テモ其命令書ハ偽造ニ非サルヲ明カナレハ  
邑長主事邑會ヘ對シ其責ヲ辭スルヲ得ス  
但シ第二百二十二條ニ示セル州行事ノ議定  
書ニテ出財セシムルハ此限ニ非ス  
此條ノ事ヨリ爭論オコルキハ邑會ニテ議定  
中ヨリ一人ヲ撰ミ詞訟法ニ則トリ償金督責  
ノヲ掌トラシムヘシ

第二百二十七條 邑會又ハ邑長主事又ハ司計

官會計ノヲニ付州行事ノ裁斷ニ服セサルハ  
ハ政府ヘ訴出ルヲ妨ケナシ  
右ノ節ニハ第二百條第二百一條ニ準スヘシ  
第二百二十八條 邑用財賦規則棄捐ハ律法ニ  
テ定マリ或ハ定ヌルヘキ國用財賦規則ニ棄  
捐ノ期限ト同例ナルヘシ  
右規則棄限ニ本節ニ有少クモ一月前ニ  
邑長主事之ヲ公告シ失念セル者ヲシテ想ヒ

出サシムヘシ

第五卷 本邑ノ所有并ニ諸建築構造等ノ事

第二百二十九條 民法ノ條例ニ據リテ本邑ノ所有ト為ス所ノ者ハ邑治ノ注意ヲ以テ精密ナル計簿ヲ作り之ヲ衙中ニ存スヘシ  
右計簿年々ニ變化アラハ之ヲ書加ヘ州行事ヘ差出シ且ツ望ハ者アラハ印本又ハ寫本ヲ

相當ノ價ニ代テ之ヲ與フヘシ

第二百三十條 本邑管轄ノ道路巷街橋梁堤防市場溝洫渡口舟著并ニ公共ノ用ニ供スル堂構ノ類ハ邑會決議ノ上以後公共ノ用ニ供ス可カラサル由ヲ公告シタル後ニ非サレハ賣拂質入等ニ為スヲ得ス  
州行事モシ要用途見込ムルハ邑内道路巷街等公共ノ用ニ供スル者ノ別段明細計簿ヲ邑

衙ニ命シテ作ラシメ且ツ備ヘ置カシムルヲ  
妨ケナシ

第二百三十一條 前條ニ示ス建築堂構ノ類ヲ  
保護スルハ邑治ノ職務タルヘシ但シ律法ノ  
定メアリテ別所ノ要務ニ屬スル者ハ此限ニ  
非ス

第六卷 邑税ノ事

第一段 總則

第二百三十二條 邑税ヲ新定シ變革シ廢止ス  
ル等ハ邑會ニテ先ツ議定書ヲ作ルヘシ新定  
又ハ變革ナレハ右議定書ノ中ニ何故ニ何物  
ニ何程税ヲ加減スル等ヲ記スヘシ

第二百三十三條 右議定書ハ決議ヨリ八日ノ  
内ニ催徴ノ規則ヲ添テ州行事ニ差出スヘシ  
州行事ハ其日附ヨリ六週ノ内ニ政府ヘ送達  
スヘシ

第二百三十四條 政府右邑稅新定變革廢止ノ  
議定書ヲ請取ラハニヶ月ノ内ニ其可否ヲ決  
シテ之ヲ回答スヘシ  
回答延期ノ節ハ右ニヶ月ノ中ニ政府ヨリ道  
理ヲ述ヘタル書面ヲ以テ其由ヲ報告スヘシ  
第二百三十五條 邑稅新定變革ノ議定書ヲ政  
府ヘ差出シ承諾ヲ乞フキハ催徵ノ規則モ亦  
之ニ添テ出スヘシ

邑會ニテ催徵規則ヲ變改スルキハ更ニ政府  
ノ承諾ヲ得テ後ニ施行スヘシ  
第二百三十六條 邑稅ノ下ニ付邑會ニテ決議  
シ政府ノ承諾ヲ經テ定マリタル箇條ト雖律  
法并ニ公共ノ治要ニ矛盾スルコトアルキハ之  
ヲ定ノタル時ト同様ノ手續ニテ遲滞ナク之  
ヲ引戻スヘシ  
若シ引戻シノコトナケレハ律法ヲ以テ取消シ

又ハ當分停止シ或ハ時宜ニヨリ其事ノ枝葉ヲモ處置スルヲ得ヘシ

第二百三十七條 邑稅ハ邑内輸通輸入輸出ノ妨ケヲ為スヲ得ス

第二百三十八條 邑稅ト稱スヘキハ第二百三十二條ヨリ第二百三十七條マテノ規則ニ適ヒタル者并ニ本邑ノ名義ニテ收納スル道金橋金堤金港金揚場金造船場金牧場金林金天

秤代尺度代鑒定代市場等坐席代墓所稅并ニ本邑所有ノ堂構建築ヲ用フル者其利ヲ受クルニ付金及ヒ邑治ノ力ニ倚賴スル産業ノ出金等ニ限ルヘシ

第二百三十九條 第二百三十二條ヨリ第二百三十七條マテノ規則事實ニ差支ナケレハ物納及力役ヲ以テ稅ニ充ルモ妨ケナレ

第二段 邑稅種類ノ事

第二百四十條 邑治ノ出費ニ充ンカ為ニ徵ス  
所ノ稅項左ノ如シ

地稅總高ノ分増

家稅總高ノ分増

利分稅總高ノ分増但シ免許稅ハ此限ニ非ス

口稅并ニ其外邑屬直稅

消費スヘキ物品ノ稅

犬稅

劇場并ニ遊覽場ノ稅

第二百三十八條ニ載スル諸金諸代諸稅

第二百四十一條 地稅分増ハ建物アル所ハ百

分ノ十五ヲ極トシ建物ナキ所ハ十ヲ極トス

第二百四十二條 家稅ノ分増ハ百分ノ二十五

ニ至ルヘシ

家稅ノ分増ハ人口ト貸賃ノ比例ニ從テ増減

アリ末ニ附スル所ノ表ヲ見テ知ルヘシ

第二百四十三條 口税并ニ其外邑属直税ハ各人ノ貧富ニ從テ至當ノ規則ヲ立テ之ヲ收ムヘシ

右規則ハ必シモ家税ノ規則ニ合スルヲ要セス

第二百四十四條 地税ノ分増建物アル所ニテ十マテ上リ建物ナキ所ニテ五マテ上リ利分税ノ分増十五マテ上リシ上ニ非サレハ口税并ニ其外邑属直税ヲ收ムヘカラス

但シ分増外ノ諸邑税最近五ケ年間平均高ノ五分一ヨリ諸分増ノ總高超過スル時ハ右ノ數ノ上ニ上ラサルトモ之ヲ收ムルヲ得ヘシ

第二百四十五條 口税并ニ其外邑属直税ヲ收ムルハ本邑住居ノ者ニ限ルヘシ

全一年邑内ニ居ラサル者ハ邑内ニ住居セル月數ノ割合ヲ以テ之ヲ收ムヘシ



一年中ニ三ヶ月住居セサル者ハ全ク之ヲ收ムルニ及ハス

一ヶ月未滿ト雖一ヶ月ト同様タルヘシ

第二百四十六條 地稅ノ分増第二百四十四條ニ示セル數ニ上ラス家稅ノ分増十五マテ上ラス且ツ口稅并ニ其外邑屬直稅ヲ收メ其高少ク凡家稅ノ分増ノ十二當ルニ至ラサレハ消費スヘキ品物ニ稅ヲ加フ可ラス

第二百四十七條 消費スヘキ物品ノ稅ハ可成

丈邑内ニテ現ニ消費スル者ニ非サレハ之ヲ加フ可ラス

第二百四十八條 他邑ニ産スル消費物品ノ稅

ハ本邑ニ産スル物品ノ稅ヨリ重カル可ラス

第二百四十九條 鹽石鹼馬苓薯豚肉羊肉ハ消費スル者ト雖稅ヲ收ム可ラス

第二百五十條 國用商稅ヲ出タス物品ノ邑用

消費税ハ其國用高税高ヨリ多カル可ラス  
但シ地税ノ分増第百四十一條ノ定高ニ上  
リ家税極高ニ上リタルキハ小麥牛牛子酒燒  
酒ハ國用高税ノ高ニ過タルモ妨ケナント雖  
其一倍半ニ過ク可ラス  
土地ノ摸樣ニヨリ別ニ直税ノ行ハルヘキ物  
アル時ハ其税ヲ先ニシ右ニ示ス小麥牛肉酒  
類ノ分増ヲ後ニス可シ

第百五十一條 工局ニテ他品製造ノ為ニ消  
費スル物品ニハ可成丈ケ邑税ヲ加フヘカラ  
ス

右物品ノ為ニ定マリタル國税免許ノ規則ハ  
邑税ニモ同例タルヘシ

第百五十二條 國用并ニ州用ノ建築修造保  
持等ノ為ノ材料ニ税ヲ加フ可ラス

第百五十三條 農工業ノ為又ハ地面建物等

用心ノ為ニ飼フ所ノ犬ハ税ヲ可成丈加フ可  
ラス或ハ加フルモ他犬ヨリ少ナカルヘシ

第二百五十四條 第二百四十條ノ竅末ニ示セ  
ル諸金諸代諸税等ハ各人所受ノ利益ト之ヲ  
製造修覆保持スルノ費トフ比ヘ相當ノ比例  
ヨリ過ク可ラス  
職務ヲ勤メ作業ヲ行フニ付邑治ニ於テ門金  
并ニ表信金ヲ差出スニ及ハス

第二百五十五條 別段ノ事情アリテ第二百四  
十四條第二百五十四條第二百五十五條并ニ第  
二百五十四條ノ初節ニ定メタル規則ヲ破ル  
トアルキハ別段ノ律法ヲ定メテ邑治ニ指示  
スヘシ

第二百五十六條 他國ノ使節領事官及ヒ附屬  
ノ人員等邑税免許ノ規則ハ政府ヨリ之ヲ布  
令スヘシ

第三段 邑稅催徵ノ事

第二百五十七條 邑稅催徵ハ第二百五十八條ヨリ第二百六十九條ノ定ニ基キ邑例ヲ以テ其法ヲ定ムヘシ

第二百五十八條 邑稅ヲ納ムヘキ期日ニ至リ之ヲ納メサル者アレハ司計官嚴命ヲ下シ法官ノ審判ナクトモ其者ノ動産不動産ヲ抑留スルノ權アルベシ

第二百五十九條 司計官租稅ヲ納メサル者ヲ勸誡シタル後ニ非サレハ嚴命ヲ用フルニ至ル可ラス

又司計官嚴命ヲ用フル前ニ兵士一人ヲ遣ハシ其收納ヲ督責セシムルコトアルヘシ

第二百六十條 國稅催徵ニ付未納者ヲ勸誡シ兵卒ヲ遣シテ督責シ嚴命ヲ用フル等ノ規則ハ邑稅催徵ニ付テモ同例タルヘシ

右ノ節雜費償方モ亦右規則ニ從フ可シ

第二百六十一條 邑稅催徵ノ諸書付ニハ邑長主事ヨリ命シタル掛官負一人自署スヘシ

第二百六十二條 邑稅收納滯リタルトキ又ハ催促ノ窳後書面ノ日付ヨリ三ケ年ノ間催徵ナキハ棄捐タルヘシ

第二百六十三條 國稅ノ分増ハ本稅ト共ニ國稅司ニテ之ヲ收メ毎月ノ末ニ本邑司計官ヘ

之ヲ渡スヘシ

第二百六十四條 口稅并ニ其外邑中直稅ノ計簿ハ邑長主事檢査ヲ加ヘタル上書記局ニ少

クモ十四日ノ間差置キ衆人ニ公示スヘシ計簿ヲ書記局ニテ公示スルヲ布告スヘシ

第二百六十五條 前條ニ示セル時限經過ノ後邑會ニテ右計簿ヲ確定スヘシ

右時限ノ内ナレハ計簿ニ載セタル所ヲ不服

ニ思フ者ハ邑會へ出テ之ヲ訴フルコトヲ得ヘ  
 シ  
 右訴出タル者邑會決議ノ書付ヲ受取り其日  
 附ヨリ八日ノ間ニ州行事へ訴出ツルコトヲ得  
 ヘシ  
 邑會ノ確定セシ計簿ヲ少クモ八日ノ間書記  
 局ニテ公示シ且ツ其事ヲ布告スヘシ  
 不服ヲ訴ヘント欲スル者ハ右日限ノ間ニ州

行事ニ訴へ出ツヘシ  
 州行事可成丈速ニ右訴ヲ裁斷シテ邑會并ニ  
 訴人へ報告スヘシ  
 邑會并ニ州行事へ告訴ノ書付ハ歎願書ノ體  
 裁ニテ無封タルヘシ  
 第二百六十六條 邑會ニテハ州行事裁判ノ趣  
 意ニ從ヒ計簿ヲ改定スヘシ  
 計簿ハ州行事ノ承諾ヲ得タル上ニ非サレハ

施行スルヲ得ス

第二百六十七條 國用商稅ヲ收ムル物品ノ邑稅ハ國用商稅ニ差支ナキ分ハ其總高ノ分増トシテ之ヲ收ムヘシ  
右分増ハ國用商稅ト同時ニ商稅催徵ノ規則ニ從ヒ之ヲ收ムヘシ  
但シ本邑ノ為ニ已ムヲ得サル事情アラハ政府承諾ノ上格外ノ法ヲ行フヲ得ヘシ

第二百六十八條 邑稅催徵ノ節右催徵精確ノ為ニ必要ナルトノ外ハ諸物品ノ運輸并ニ安置等ノ妨ケヲ為スヲ得ス

第二百六十九條 邑稅催徵ノ精確ヲ表セシカ為ニ關シ可ラサル法式ヲ要スト雖之カ為ニ費用ヲ出スニ及ハス

第二百七十條 邑稅ヲ免レンシカ為ニ稅官ノ點檢ヲ拒ミ又ハ妨ケヲ為ス片ハ十元以上百元

ニ至ルノ過料ヲ以テ之ヲ罰スヘシ  
第二百七十一條 邑稅ヲ遁レ或ハ其規則ヲ破  
リ又此等ノ企ヲ為シ或ハ人ノ企ニ助力セル  
者其罰左ノ如シ

過料

稅ノ根元タル物品ノ藉沒

右物品ヲ入タル器物桶箱俵籠袋等ノ藉沒

第二百七十二條 過料ノ罰ニ付左ノ差等アル

ヘシ

工人商人家業ノ物品ニ付前條ニ示スカ如  
キ姦計ヲ自ラ為シ或ハ人ニ為サシメ或ハ  
自ラ為シト企テ或ハ人ニ為サシメント企  
ツル片ハ常法ノ税金ニ六倍セル過料ヲ取  
ルヘシ但シ五十元ヨリ少ナカル可ラス  
工人商人ノ奴僕雇工等給料ヲ取リテ使ハ  
ル者主人ノ命ニ非スレテ前條ノ如キ姦



計ヲ為シ又ハ企ツル者常税四倍ノ過料ヲ  
取ルヘシト雖二十五元ヨリ少ナカルヘカ  
ラス  
右ノ外ニテ前條ノ姦計ヲ犯ス者ハ常税一  
倍ノ過料ヲ取ルヘシト雖五元ヨリ少ナカ  
ル可ラス

再犯ハ前過料ノ一倍ヲ取ルヘシ

第二百七十三條 過料ノ罰ヲ受ル者申渡ノ後

二ヶ月ノ間之ヲ納メサル片ハ法官ノ差圖ニ  
テ入牢ヲ以テ之ニ代フヘシ其比例左ノ如シ

二百元以上ハ	二ヶ月
一百元以上ハ	一ヶ月
五十元以上	十四日
五十元以下	七日

第二百七十四條 第二百七十條第二百七十一  
條ニ示ス如キ姦計ヲ再度以上犯シタル者ハ

邑會ニテ二年以下ノ若干時限ヲ定メ其時限  
ノ間手形ヲ以テ物ヲ借リ物ヲ納レテ手形ヲ  
取ルノ便宜ヲ許サス又邑稅ノ規則ニテ定マ  
リタル減稅及ヒ返稅ノ利益ヲ受クルヲ許サ  
ス

第二百七十五條 邑稅ノ有司第二百七十條第  
二百七十一條ノ姦情ヲ見出サハ其時ヨリ廿  
四時ノ内ニ其証書ヲ記スヘシ右有司受任ノ

時未タ誓約ヲ為サル者ナレハ証書ヲ記ス  
ル後四十八時内ニ四等裁判所ノ法官若クハ  
其代員ノ前ニテ誓約ヲ為スヘシ  
第二百七十六條 邑稅ノ有司何時ニテモ要用  
次第已レカ受任狀ヲ示シクル上ナレハ邑稅  
規則ニテ已レカ管轄内ニ在ル工局舖店倉庫  
穴藏等ヲ検査スルヲ得ヘシ  
右建物ノ一部分人ノ居室トナセル所ハ日ノ

入ヨリ日ノ出マテノ間ハ検査スヘカラス若  
シ検査ヲ要スル時ハ邑長主事巡警長ノ内一  
人同行スヘシ  
右建物ノ一部分ニ非サル居室ハ日ノ出ヨリ  
日ノ入マテノ間ノ外検査スヘカラス且ツ檢  
査ノ節ニハ必ス邑長主事巡警長ノ内一人同  
行スヘシ但シ巡警長ナレハ邑長ノ差圖書ヲ  
所持シ望ミ次第ニ之ヲ示スヘシ

第二百七十七條 第二百七十一條ニ示ス如キ  
姦情ヲ見出セシキハ其物品藉没スヘキ者ナ  
レハ速ニ之ヲ取上ケ本邑司計局ニ貯置クヘ  
シ其雜費ハ犯人ヨリ出サレムヘシ  
取上タル物品ヲ貯置ク前ニ持主又ハ關係人  
ノ眼前ニテ物品目錄ヲ記スヘシ或ハ持主不  
在ニテ之ヲ名アト雖二日ノ間ニ來ラサレハ  
其眼前ニ非サルモ妨ケナシ

第二百七十八條 物品ヲ取上ルハ質物ト為ス  
ノ主意ナリ故ニ持主當然ノ税金ヲ收メハ之  
ヲ返シ與フヘシ

第二百七十九條 取上ノ物品裁判ノ上藉没ニ  
決スル時ハ裁判所ノ門吏又ハ其任ニ當ル者  
公ケニ之ヲ賣拂フヘシ  
腐敗シ易キ物品歟又ハ生活セル番類ナレハ  
四等裁判所ノ法官ノ指圖ヲ以テ証書ヲ記シ

印稅薄稅ヲ免カレ可成丈速ニ賣拂フヘシ

物品賣拂金ハ司計官ノ金庫ニ納ムヘシ

第二百八十條 誤テ物品ヲ取上ル歟或ハ取上

ニ付難澁ヲ生スル等ノヲアレハ其持主償ヲ  
求ムルヲ得ヘシ

右償ハ取上ヨリ返却マテノ日數ニ準シテ之  
ヲ與フヘシ其割合ハ一ヶ月ニ物品ノ償ノ百  
分一ヨリ多カル可ラス

誤テ取上ケタル物品已ニ賣拂ニナリタル片  
ハ持主其賣拂代金ヨリ多キヲ追求スルヲ  
得ス

第百八十一條 邑稅督責ノ雜費犯人ニ及ホ  
ス可ラサル片ハ邑治ノ損失タルヘシ

第百八十二條 過料并ニ藉没ノ貨財ハ邑治  
ノ所得タルヘシ

第百八十三條 千八百十九年四月廿九日ノ

規則ハ以來廢止スヘシ

邑法改換規則ノ事

第百八十四條 是迄在職ノ邑官ハ以後此規  
則ニ從ヒテ選マレタル跡役ノ定マル迄ハ其  
儘在職スヘシ

第百八十五條 邑長ハ此規則ノ日附ヨリ滿  
二ケ年ノ内ニ政府ヨリ命セラルヘシ

新ニ命セラレタル者半ハ滿四年目ニ退職ス  
ヘシ残りノ半ハ滿五年目ニ退職スヘシ  
右ノ通り何レノ邑ヨリ舉行スヘキ歟其順序  
ハ政府ノ指圖ニ從フヘシ  
第二百八十六條 公選規則第六條ニ示セル邑  
會議員選舉人ノ姓名帳ハ布告當日ヨリ十五  
日內ニ作ルヘシ  
右姓名帳ハ十五日目表向ニ確定シ夫ヨリ四

十日ヲ經テ表向ニ之ヲ封藏スヘシ  
右姓名帳編成ノ節ニハ最近ク調ヘタル直稅  
計簿ヲ以テ考據ト為スヘシ  
第二百八十七條 議員初度ノ選舉ハ右姓名帳  
封藏後一月內ニ之ヲ行フヘシ  
第二百八十八條 議員三分ノ一ハ三年目ノ九  
月中ニ退勤スヘシ主事ノ半ハ四年目ノ九月  
中ニ退勤スヘシ

和蘭邑法 卷六 四

第二百八十九條 各邑新議負第一集會ノ期日ハ州行事之ヲ定ムヘシ

第二百九十條 書記司計ノ規則議事規則其外此邑法ニ定メナキ分ハ追テ定マルマテ從來ノ規則ニ從フヘシ

第二百九十一條 違背スル者罪科ヲ受ヘキ邑例中新法ト齟齬スル分ハ此規則ノ日附ヨリ五年ノ内ニ改定シテ新法ト一致セシムヘシ

邑稅規則ハ右年限ノ間ニ改正シ邑會ノ決議ニテ之ヲ定ムヘシ  
右年限中ニ改定ナケレハ邑例規則共ニ之ヲ廢スヘシ

第二百九十二條 司法事務規則ノ第四十五條ノ定メハ追テ別段ノ規則定マルマテハ之ヲ遵守スヘシ

第二百九十三條 議負選舉人ノ數二十五人ニ

滿タサル邑ニ於テハ此規則ノ第四條ヨリ第  
 三十九條ニ至ルマテノ定メ并ニ第百三十一  
 條第百三十二條ニ載セタル別段掛リ議真選  
 舉ノ一等ハ當分之情停止スヘシ  
 右停止ハ此規則ノ日附ヨリ算ヘ二年ニ過ク  
 可ラス  
 右ノ邑ニ於テハ議真ニ選マル、ニ必要ノ件  
 件差支ノ件々人數并ニ受任ノ一在職年限誓

約式等當分從來ノ規則ニ從フヘシ

結尾

第百九十四條 此邑法布告ノ日ヨリ之ヲ遵  
 奉スヘシ

第百四十二條ノ附表

邑内人口	貸賃割増	同	同	同	同
至四万八千	自七十元 至八十元	同	同	同	同
自三万六千 至四万八千	自五十元 至六十元	同	同	同	同
至四万八千	自六十元 至七十元	同	同	同	同
至四万八千	自七十元 至八十元	同	同	同	同
至四万八千	自八十元 至九十元	同	同	同	同
至四万八千	自九十元 至百十元	同	同	同	同
至四万八千	自百十元 至百二十元	同	同	同	同
至四万八千	自百二十元 至百四十元	同	同	同	同
至四万八千	自百四十元 至百六十元	同	同	同	同
至四万八千	自百六十元 至百八十元	同	同	同	同
至四万八千	自百八十元 至二百元	同	同	同	同
至四万八千	自二百元 至二百五十元	同	同	同	同
至四万八千	自二百五十元 至三百元	同	同	同	同
至四万八千	自三百元 至三百五十元	同	同	同	同
至四万八千	自三百五十元 至四百元	同	同	同	同
至四万八千	自四百元 至四百五十元	同	同	同	同
至四万八千	自四百五十元 至五百元	同	同	同	同
至四万八千	自五百元 至五百五十元	同	同	同	同
至四万八千	自五百五十元 至六百元	同	同	同	同
至四万八千	自六百元 至六百五十元	同	同	同	同
至四万八千	自六百五十元 至七百元	同	同	同	同
至四万八千	自七百元 至七百五十元	同	同	同	同
至四万八千	自七百五十元 至八百元	同	同	同	同
至四万八千	自八百元 至八百五十元	同	同	同	同
至四万八千	自八百五十元 至九百元	同	同	同	同
至四万八千	自九百元 至九百五十元	同	同	同	同
至四万八千	自九百五十元 至一千元	同	同	同	同
至四万八千	自一千元 至一千元以上	同	同	同	同



自二万四千 至三万六千	自四十五元 至五十五元	自五十元 至五十五元	自五十五元 至七十元	自七十元 至八十元	八十元以上
自一万七千 至二万四千	自四十元 至四十五元	自四十五元 至四十九元	自四十九元 至五十五元	自五十五元 至七十元	七十元以上
自一万二千 至一万七千	自三十五元 至四十五元	自四十元 至四十四元	自四十四元 至四十九元	自四十九元 至五十五元	五十五元以上
自八千 至一万二千	自三十元 至三十五元	自三十五元 至三十八元	自三十八元 至四十四元	自四十四元 至四十九元	四十九元以上
自五千 至八千	自二十五元 至三十元	自三十元 至三十三元	自三十三元 至三十八元	自三十八元 至四十四元	四十四元以上
自三千 至五千	自二十二元 至二十五元	自二十五元 至二十八元	自二十八元 至三十三元	自三十三元 至三十八元	三十八元以上
三千以下	自十八元 至二十一元	自二十一元 至二十四元	自二十四元 至二十八元	自三十三元 至三十三元	三十三元以上

官御用御書物師

須原屋茂兵衛  
 山城屋佐兵衛  
 岡田屋嘉七  
 和泉屋金右衛門  
 和泉屋市兵衛  
 紀伊國屋源兵衛  
 出雲寺万次郎